

## カボスプレー/クアトロケア(プラス)を使用したクリーニング/注油方法

### ■カボスプレーによるクリーニング/注油

スプレーは滅菌前に行ってください。スプレー後は30秒間空回転し、余剰オイルを取り除きます。オイルに汚れが残っている場合は、汚れがなくなるまで「スプレー ⇨ 空回転」を繰り返し行います。空回転を行う際は、誤ってハンドピースのヘッドキャップを押さないようご注意ください。



**タービン**  
チャック部からオイルが出てくるまでスプレーします。(約2秒間)



**ヘッド**  
シャックと分割できるヘッドは、分割してスプレーします。(約2秒間)



**チャック**  
専用ノズルでスプレーします。



**シャック**  
ヘッドと分割できるシャックは、分割してスプレーし、一体型は、シャックにスプレーします。(約2秒間)

●滅菌前(毎日 昼・夜)

●滅菌前(毎日 昼・夜)

●1週間に1回以上

●滅菌前(毎日 昼・夜)

### カボスプレー 使用時の注意

スプレー缶を傾けないで机の上などに立てるなど、垂直にして使用してください。  
※専用のクリーニングバックを使うと、オイルの飛散防止や汚れの確認ができます。



### ■クアトロケア(プラス)によるクリーニング/注油

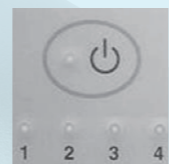
クアトロケア(プラス)は、適切な注油と余剰のオイルを取り除くことができます。クアトロケア(プラス)は滅菌前に行います。



フタを閉じる



スタートボタンを押す



注油完了

### ハンドピース(特に5倍速コントラ)をご使用の際には、ヘッドとグリップの発熱にご注意ください。

適切でない使い方や不十分なメンテナンスによって、発熱や破損につながる恐れがあります。快適で安全にご使用いただくために以下の注意事項をご留意ください。

- ご使用前は必ずから回しを行い、異音や振動がある場合は使用を中止し、点検をご依頼ください。
- 異常がなく順調に作動していても、ベアリングやギアは長期間の使用で摩耗し、発熱や破損の原因となります。年1回は定期点検をご依頼ください。
- 落下などの衝撃を受けた場合は、内部が破損し変形している恐れがあるため、異音や振動の有無にかかわらず点検をご依頼ください。
- フェザータッチで使用し、回転中はヘッドキャップを押さないように注意してください。
- 連続作動する際は30秒程度毎に回転を止めて、口腔外でヘッド部が発熱していないか確認してください。
- 変形・摩耗・錆びがあるバーは使用しないでください。
- バーは指定された回転数で使用してください。

### お手入れ講習会のご案内

全国のKaVoショールームにてお手入れ講習会を定期的に開催しています。お手入れを適切に行っていただくことにより、トラブルを未然に防ぎ、製品の耐久性を高め、機器本来の優れた性能を維持できます。



# KaVoハンドピースを 快適、安全に長くご使用いただくために

KaVoのハンドピースは高い品質で優れた精度を持ち、長きに亘って快適、安全にお使いいただける製品です。しかし、適切でない使い方や不十分なメンテナンスによって本来の耐久性が得られない場合があります。適切な使い方やメンテナンスによって、患者さんやスタッフに安全で快適な環境をもたらす。不必要な修理コストも削減することができます。



〈監修〉

## 山下歯科医院

愛知県西尾市一色町味浜東下浜11-3  
TEL.0563-72-3230

院長

## 山下 保彦

- 日大歯学部非常勤講師
- 小嶋会会員
- 日本歯内療法学会 中部支部副会長
- 日本顎咬合学会 会員
- 咬合療法研究会 会員
- FOCJ会員



KaVo. Dental Excellence.

## カボ デンタル システムズ ジャパン株式会社

東京本社 ●〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 Tel:03-6866-7480 Fax:03-6866-7481  
大阪本社 ●〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 4-5-2 Tel:06-7711-0450 Fax:06-7711-0451  
札幌支店 ●Tel:011-716-4694 Fax:011-716-4692 ●仙台支店 ●Tel:022-772-7375 Fax:022-772-7376  
名古屋支店 ●Tel:052-238-1146 Fax:052-238-1567 ●福岡支店 ●Tel:092-441-4516 Fax:092-472-1844  
<http://www.kavo.jp>

VIIIJB1505V1 INS-057



KaVo. Dental Excellence.



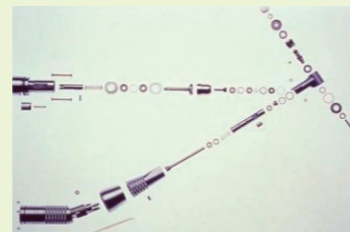
## ローターの破損

ハンドピースのタッチ圧力が強いとハンドピースに強い負荷がかかり、ローターが破損して発熱の原因となり、患者さんが火傷をおこす恐れがあります。また、スプレー清掃が十分でなかったり、メンテナンス不足もローター破損の原因と考えられます。回転中にプッシュボタンを押すと、プッシュボタンの凸部が摩耗し、金属粉がベアリング内部に入りローターが破損することもあります。



山下先生  
アドバイス

取扱説明書に記載されている規定サイズ内のバーを使用し、フェザータッチで切削します。KaVoのハンドピースは強い負荷をかけなくても、十分な切削が得られます。また、適切なお手入れをしなければどんなに素晴らしい製品もすぐに故障してしまいます。精度の高い治療を実現するためにも正しいメンテナンスを行うことが大事です。



タービンやコントラアングルの内部は複雑な構造で高精度な部品が使用されています。より長く安全に使用するためには確実なメンテナンスが不可欠です。

## チャック不良

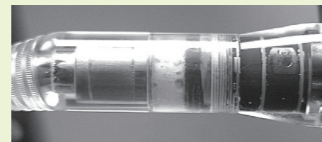
バーの軸径が細いものを使用すると、バーがスリップしチャックの爪が摩耗してしまいます。また、スリップ傷があるバーを使用し続けると、さらにチャックの爪を損傷させてしまいます。チャックのバーの保持が弱くなると、バーが抜けて患者さんの口腔内に飛び出す恐れがあり、大変危険です。

山下先生  
アドバイス

使用する前に、バーにスリップ傷がないか確認してください。また、スプレー洗浄を怠るとチャック不良を起こすことがあるので、スプレー洗浄を適切に行いましょう。



クアトロケアブラスは、チャックの注油も可能です。



オイルスプレーがハンドピース内で30倍に膨張し、汚れを効果的に吹き飛ばします。



十分にオイルが行き届かないと、オイル不足で黒く焦げ付き、チャック部分が破損します。

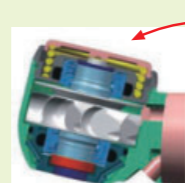
## バーの着脱不良

使用中(回転中)にプッシュボタンを押すと、キャップ側の凸部やローター側が摩耗し、バーの着脱不良が発生したり、バーが咬み込んで抜けなくなる場合があります。

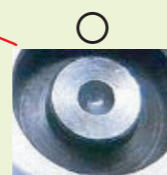
山下先生  
アドバイス

ハンドピースは回転が完全に止まってからバーを交換するなど、ちょっとした気配りで故障の原因を防ぐことができます。

回転中に、ヘッドキャップのボタンを押さないでください。



構造上、通常の使用ではヘッドキャップがチャック部に当たることはありません。



正常品



ヘッドキャップの臍がチャック部が当たって擦り減っています。

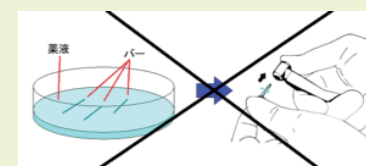
## バーが保持しない

薬液洗浄後に水洗が十分でないと、バーに付着した薬液が乾燥して結晶となり、ハンドピースのチャック部の動きが悪くなり、バーが保持できなくなる恐れがあります。

山下先生  
アドバイス



薬液を使用する場合は、薬液を水でよく洗い流してからチャック内にバーを挿入してください。また、週に1度はチャック内部のスプレー清掃(KaVoスプレーを使用した清掃)を行いましょう。

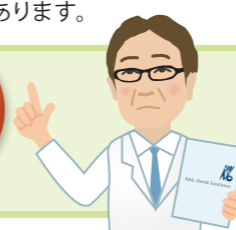


薬液が付着した状態のバーをハンドピースに装着しないでください。

## ヘッドキャップが緩む

芯ブレが発生している状態で使用し続けたり、ヘッドキャップ周辺に傷があったり、落下による衝撃を与えることでキャップが緩む恐れがあります。

山下先生  
アドバイス



ハンドピースは回転が完全に停止してからプッシュボタンを押してください。また、ハンドピースは精密機器なため内部は複雑な構造になっています。落下などの衝撃で内部が損傷するため、取り扱いには十分注意しましょう。

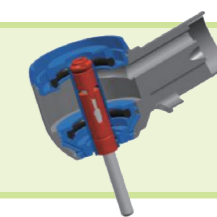
## チャックの入口が損傷

チャックの入口周辺を損傷させる原因は、完全に奥までバーを差し込んでいなかったり、チャック内をバーで傷つけたり、抜けなくなったバーをプライヤー等で無理やり引っ張ったり、バーを装着したまま誤って落下させることなどが考えられます。

山下先生  
アドバイス



ハンドピースにバーを装着する際は、奥までしっかり挿入します。



## 発熱・異音

ハンドピースを落下させたり、打痕によるハウジングの変形により、発熱や異音を引き起こす場合があります。また、ハンドピースの注水量が少なかったり、不十分なメンテナンスも原因の1つに挙げられます。

山下先生  
アドバイス



ヘッド部のローターケースを変形させないように注意しましょう。また、注水量は必ず50cc/分以上で切削してください。オートクレーブ滅菌(高圧蒸気滅菌)を行う際は、機器内部に汚れが焦げ付いて残らないように滅菌する前に必ずスプレーを使用した清掃を行います。スプレー洗浄をする際は、出てきたオイルを確認し、きれいなオイルが出るまで行ってください。発熱や異音を感じた際は、使用を中止し修理点検をご依頼ください。



切削粉・血液・唾液や汚れが付いた状態は、発熱や異音の原因になります。